

Rule 4

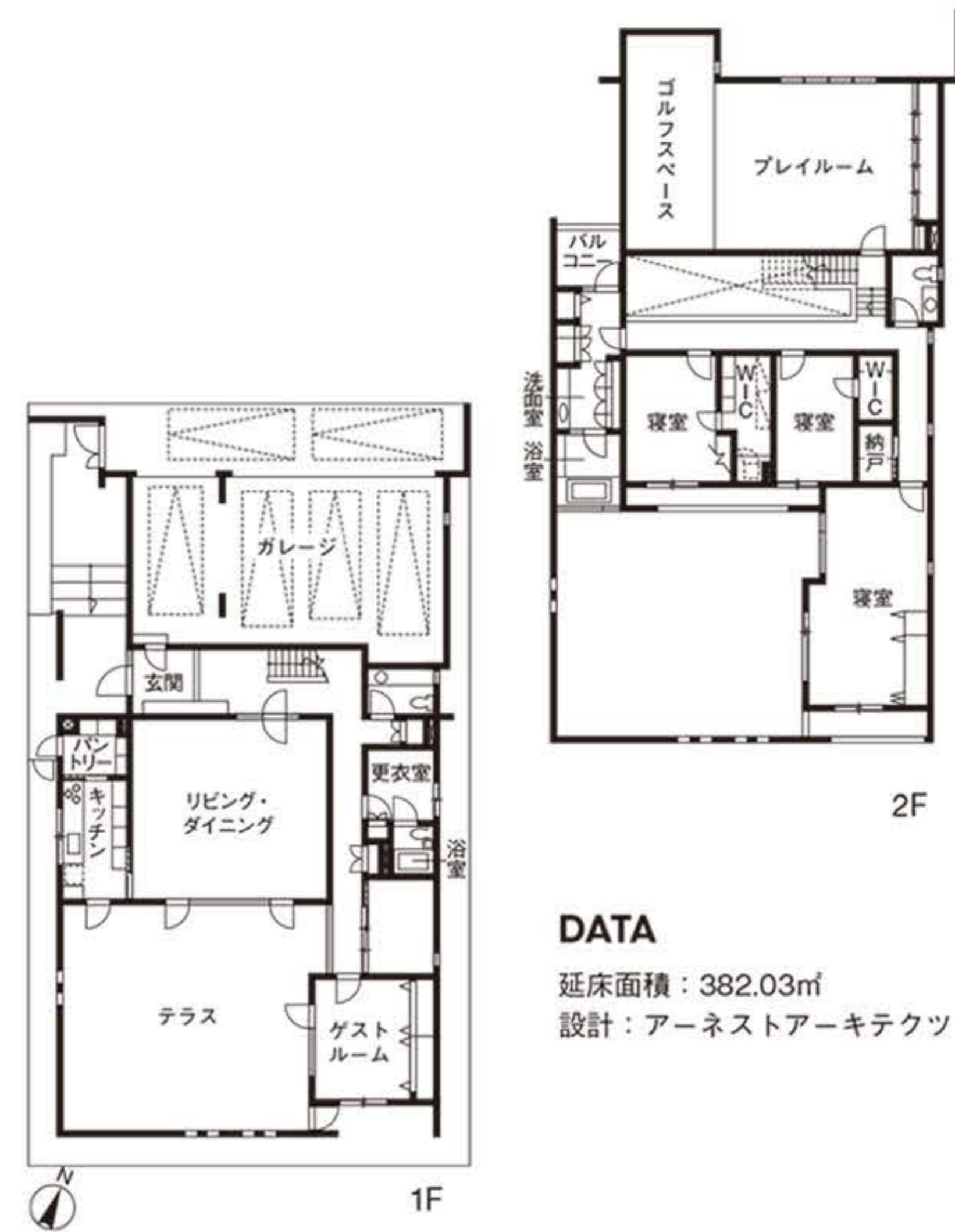
プライバシーを保つ

開放感いっぱいのトゥーゲントハット邸だが、2階に設けられた寝室や個室は開口部が外からは見えないような配置になっている。開放性を保ちながらプライバシーを確保する工夫は、住まいに心の安らぎをもたらしてくれる。日本の市街地に建つ家では特に必須の条件といえる。

カーテンを開け放ち
守られた空間でくつろぐ家

● 埼玉県 M邸

リビング・ダイニングは大きな開口部で中庭に開いているが、中庭が壁で守られているためカーテンを下ろさなくても近隣からの視線を気にせずくつろげる。



安心に満たされた
 サंकチュアリな住まい

住まいの建て替えに際してMさんがプライバシーの確保を重視したのは、接している駐車場からの視線が気になっていたからだ。仕事で多忙な日々を送るWさんは、新しい家を心からホッとできる場所にしたと考えていた。

それを実現したのは、中庭をもつ「コートハウス」という選択。L字の建物と壁で完全に囲まれた中庭は白亜の空間で、ホームパーティではテーブルやソファが並べられ社交の場となる。

リビング・ダイニングをはじめとする各部屋はこの庭に面しているので、カーテンなしで思い切り開放感を味わうことができる。そ

れは浴室も同様で、照明を消して湯に浸かりながら月の光や星空を楽しんでいる。玄関ホールの窓は吹抜け上の高窓のみに絞ったが、白を基調とした内装が清々しい光を拡散させ、ゲストを迎えるのにふさわしい空間となっている。

一日の終わりに心を解き放てるこの家は、Wさんにとって欠くことのできないリラククス装置だ。



3 玄関ホールのタイル貼りの壁面の左側にはガレージと趣味室があり、居住スペースを道路から隔てている。その効果で大型車両が通るときの音がまったく気にならなくなった。北側の高窓からの採光で、安定した柔らかい光がアイヴォリー基調の空間を浮かび上がらせる 4 玄関への長いアプローチも門扉と塀で囲まれているので安心感がある 5 2階の浴室も中庭に面しており、プライバシーが保たれているのでブラインドは不要。娘は皆既月食を観察しながら長湯をしてしまったこともあるそう 6 壁と建物で囲まれた中庭では、空の眺めを思うままに独占できる。採光や通風にも配慮して、壁に通風のスリットやガラス面を設けたので、見た目も軽やかになった



1 広い中庭は建物と塀で囲まれ、室内同様にプライバシーが保たれている。ホテルのような上質な空間は、人を大勢呼ぶホームパーティの会場にもなる 2 リビングの壁には天然石の風合いを生かしたタイルをあしらった。間接照明が石の質感と凹凸を際立たせ、鏡面仕上げのテレビボードとともに広い空間のアクセントになっている

